

SYSTEMS ENGINEERING CONSULTANTS CO.,LTD.

CORPORATE PROFILE

MESSAGE

メッセージ

ユビキタス社会の安全と発展のために

「面白いこと、誰も成し遂げていないこと、
難しいことに挑戦しよう。」そんな想いのもと、
1970年に3名の大学院生により
株式会社セック (SEC) は設立されました。
セックという社名は、『Systems Engineering
Consultants Co., LTD.』の頭文字をとったものです。
そこには、システムズエンジニアリング
(システム工学) を究めたプロの技術者集団を
目指したいという願いが込められています。

当社が創業以来、常に中核としてきたのが
リアルタイム技術です。リアルタイム技術とは、
時々刻々と変化する外界の事象に対して瞬時に応答し、
高い信頼性が求められるシステムを設計する技術です。
セックは“社会の安全と発展のために”をスローガンに、
「はやぶさ」をはじめとする科学衛星搭載システム、
モバイル端末の組み込みソフトウェア、
高度交通システムなど社会基盤システム、
サービスロボットのミドルウェアなど、
リアルタイム技術が得意とする様々な分野で、
ソフトウェアを提供してきました。

QCD&I(品質・価格・納期を窮め、
イノベーションで飛躍する)をビジネスコンセプトとして、
お客様の期待に応え続け、事業領域を拡大しています。

これから先、センサーやネットワークの
技術進歩に伴い、ユビキタス社会は一層、
「同時性・即時性・実時間性」に強い高品質な
ソフトウェアが必要となる世の中になっていきます。
“チャンスは、蓄積できない。”
セックはチャレンジを躊躇することなく、
今後も新たな成長を目指してまいります。

PHILOSOPHY

会社理念

社会の安全と発展のために

〈 目標 〉

1. 最良のリアルタイムソフトウェアを提供して、社会に貢献する。
2. 社員の自己実現と会社の存続発展の一致をはかる。
3. 以て、かけがえのない一流のソフトウェア会社となる。

〈 方針 〉

1. お客様中心ビジネスを実践し、魅力あるソフトウェア会社となる。
2. 知力の強化と技術の組織化に努め、完全性に挑戦する。
3. プロフェッショナル化を推進する。
4. グローバル化を推進し、知的財産権時代に主体的に対応する。
5. 質重視とリアルタイム経営で、会社の個性を磨く。
6. 地球資源が有限であることを認識し、環境の保全に永続的に配慮する。

〈 行動規準 〉

1. 法および社会規範を遵守する。
2. 誇りと謙虚さを持って行動し、また事業活動の透明性を維持する。
3. 知的財産権を尊重し、また機密を完璧に守る。
4. 創造的破壊の精神で創意工夫に努める。
5. 自律自助の精神で臨む。

REALTIME TECHNOLOGY

リアルタイム技術

リアルタイム技術のプロフェッショナル集団

リアルタイム技術とは、「時々刻々と変化する外界と密接な相互作用を持った、コンピュータシステムを開発する技術」のことで、言わば、自然現象を相手にしたシステムを設計する、普遍的な技術です。例えば、太陽の爆発であるフレア現象を撮影する観測システムは、24時間休むことなくセンサーが捉えた情報を解析し、爆発という天体の一瞬の変化を捕捉することが求められます。このような、突然発生したり、集中したり、あらかじめ予測することができず、再現性がない事象に対して、瞬時に応答し、連続運転可能なシステムを設計する技術がリアルタイム技術です。このリアルタイム技術を社員全員が身につけているということが当社の最大の特徴であり、リアルタイム技術が必要とされる分野が当社の事業分野です。



BUSINESS CONCEPT

ビジネスコンセプト

QCD & I = Customer Satisfaction

最高のお客様満足度を実現するために

QCD(品質・価格・納期)を窮め、I(イノベーション)で飛躍する。
セックは QCD&I をスローガンに、お客様中心ビジネスを展開しています。

Quality, Cost, Delivery

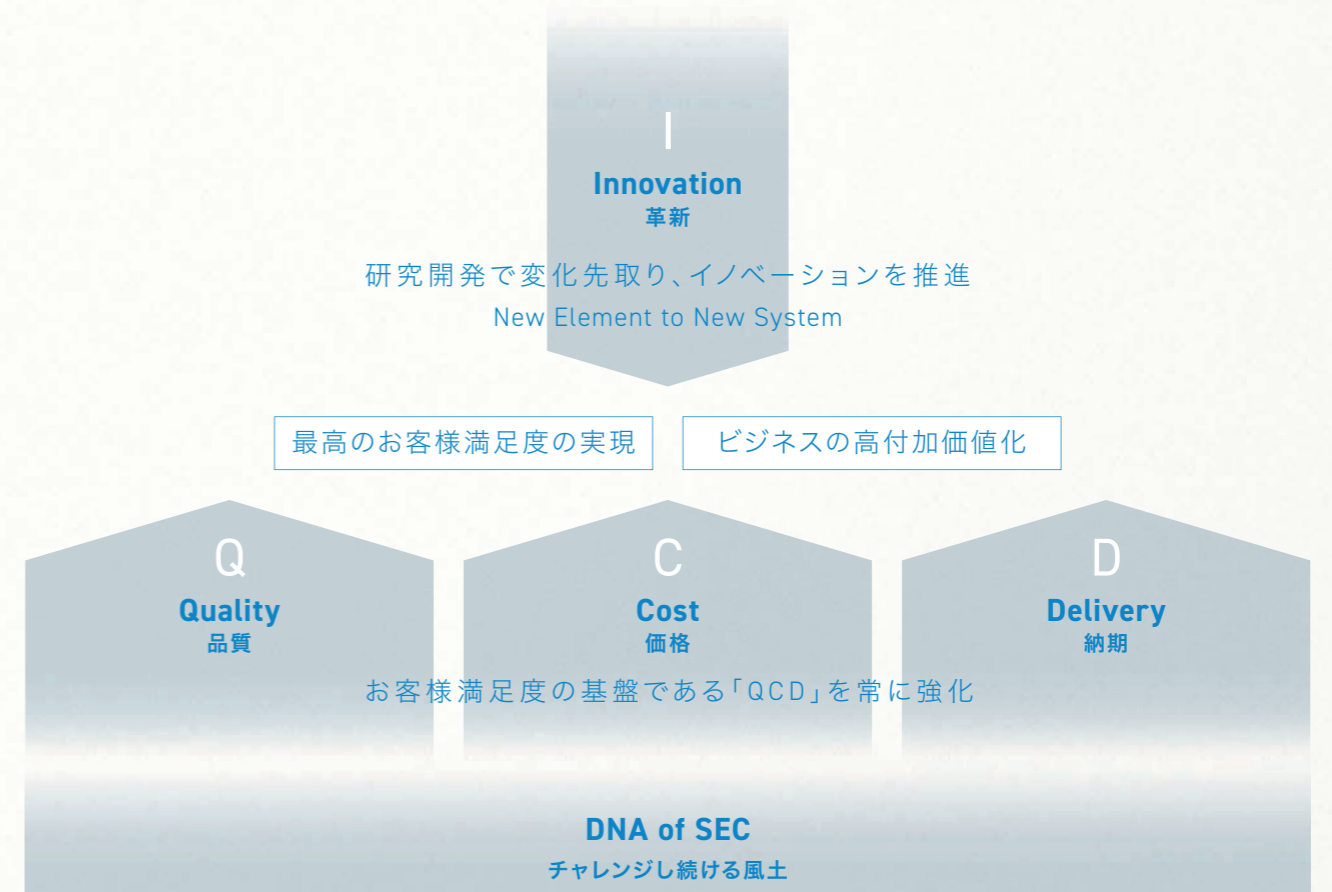
セックは徹底して、品質にこだわっています。品質の良さが、開発コストを下げ、開発期間を短縮することにつながるからです。お客様から私たちへの「より高品質なものを、より低価格で、より短納期で」というご要望は日々強まっています。こうしたQCDへの対応力を、お客様満足の基本として強化していきます。

Innovation

セックは創業以来、「New Element to New System」を標語としてきました。これは、新しい何か「New Element」があって初めて、新しいシステム「New System」ができ、それまで不可能であったことが可能になる。それが最高のお客様満足度につながり、ビジネスの高付加価値化にもつながるという考え方です。お客様のニーズを予測し、研究開発で変化を先取りして「New Element」を準備し、それを核とする主体的なビジネスを展開することで、持続的な成長を果たしていきます。

DNA of SEC

イノベーションをコンセプトとするセックには、果敢にチャレンジし続ける風土があります。一括受注にこだわり、一度引き受けた仕事を途中であきらめたことはありません。どんな難題があっても最後までやりぬくというネバーギブアップの精神と、質のよい仕事がお客様中心ビジネスの原点であり、最高の営業活動でもあるとの信念が、多くのお客様からの信頼につながっています。



BUSINESS FIELD

事業分野

ユビキタス社会に貢献する
セックの技術サービス

セックは、ユビキタス社会の実現を目指して、モバイルネットワーク、インターネット、社会基盤システム、宇宙先端システムの4つのビジネスフィールド(BF)でリアルタイムソフトウェアを提供しています。

INTERNET TECHNOLOGY

インターネットBF

世の中をもっと便利に、安全に

非接触ICのエンベデッドソフトウェアと、IoT関連技術、クラウドシステムなどの技術アプリケーションの開発を手がけています。

- 〈開発事例〉
- ・非接触IC搭載ソフトウェア
 - ・屋内位置測位システム
 - ・スマート衣料IoTプラットフォーム開発
 - ・IoTデバイス利用システム開発
 - ・災害時統合情報システム
 - ・企業向けWebシステム/クラウドシステム構築

MOBILE NETWORKING

モバイルネットワークBF

ユビキタス社会を実現させるソフトウェアの開発

キャッシュレス決済端末や車載情報端末、スマートフォンなどモバイルデバイスを使ったサービスシステムや、スマートコンストラクション、XR(クロスリアリティ)など次世代技術を使ったエッジデバイスのソフトウェアを開発しています。ネットワークを介して、いつでもどこでも、あらゆるモノと人をつなぐ技術(ユビキタス技術)で、便利で楽しく、快適な社会の実現に貢献しています。

- 〈開発事例〉
- ・XRプラットフォーム開発
 - ・スマートコンストラクション関連システム
 - ・モバイル決済端末(NFC、クライアント機能、サーバ機能)
 - ・モバイルデバイス搭載機能開発(電子マネー、カメラ、家電連携など)
 - ・車載インフォテインメントソフトウェア

PUBLIC INFRASTRUCTURE

社会基盤システムBF

次世代のインフラを構築する

高度交通システムや防衛関連システム、医療、環境エネルギーなど、社会公共分野の技術アプリケーションを開発しています。また、国や独立行政法人、地方自治体などで利用される情報システムを開発しています。

- 〈開発事例〉
- ・ITS(高度交通情報システム)路車間通信センターシステム
 - ・ロードサービス向けGPS緊急通報システム
 - ・自治体緊急医療支援システム
 - ・洪水予報・警報作成システム
 - ・太陽光発電マネジメントシステム
 - ・次世代エネルギーマネジメントシステム
 - ・電力・炭素排出量モニタリングシステム
 - ・医薬品医療機器関連情報システム
 - ・官公庁向け情報システム



SPACE, ROBOTICS AND ADVANCED TECHNOLOGIES

宇宙先端システムBF

次世代ロボット開発、宇宙探索で
人類の夢を叶えていく

科学衛星や惑星探査機の搭載エンベデッドシステムと観測データの解析システムなど宇宙天文分野、各種研究機関向けの技術アプリケーションなど先端分野のソフトウェアを提供しています。また、2003年からロボットの共通基盤研究開発を開始。ロボットの標準化と開発を推進する技術である「RTミドルウェア」と「ROS」、サービスロボットに必須の「機能安全」のノウハウを有し、様々な用途のロボットシステムの開発やコンサルティングサービスを提供しています。

- 〈開発事例〉
- ・屋内自律移動ロボットソフトウェア「Rtino」
 - ・コンピュータビジョンソフトウェア「Rtrilo」
 - ・自律移動型ロボット協働パッケージ「RTakt」
 - ・機能安全対応RTミドルウェア「RTMSafety」(IEC 61508 認証取得)
 - ・サービスロボット用ソフトウェア(車両自動走行関連システム、搬送ロボット、他)
 - ・デブリ除去衛星搭載エンベデッドシステム
 - ・科学衛星搭載エンベデッドシステム(「ようこう」「あすか」「すざく」「ひので」「ASNARO」)
 - ・惑星探査機搭載エンベデッドシステム(「はやぶさ2」「はやぶさ」「あかつき」)
 - ・宇宙ロボット(「Int-Ball2」「SORA-Q」)
 - ・国際宇宙ステーションきぼう日本実験棟関連システム(「MAXI」「SMILES」)
 - ・宇宙天気データベースWebシステム、宇宙天気予報運用サービス
 - ・天体望遠鏡制御システム(「すばる望遠鏡」)



RESEARCH & DEVELOPMENT

研究開発

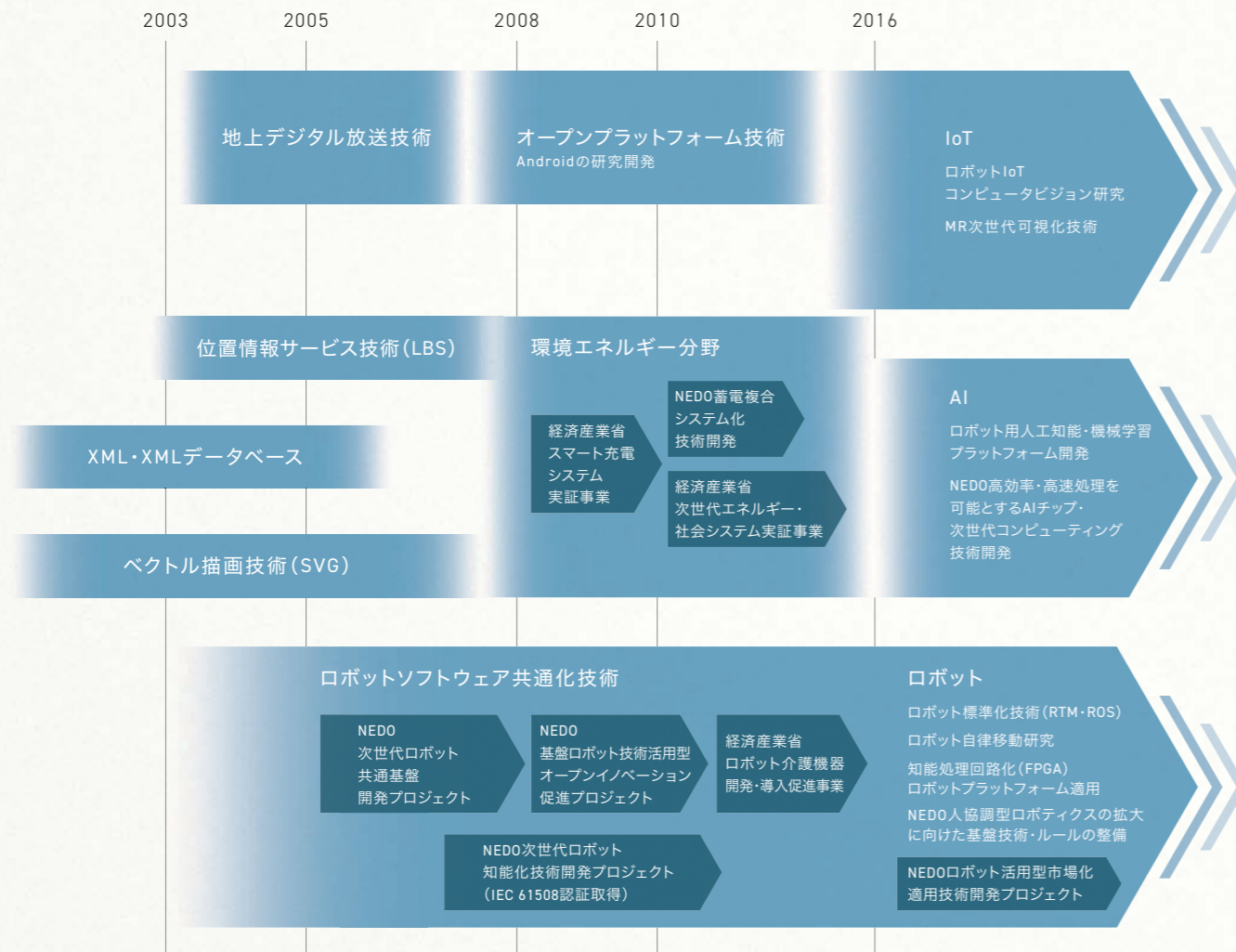
変化を先取り、“不可能”を“可能”に

「イノベーションは成長の源泉」とするセックにとって、研究開発はあらゆる活動のベースとなるものです。創業以来、'New Element to New System'の標語のもと、新しい何か New Element を常に先回りして準備し、New System の実現につなげることで、お客様満足度を追求してきました。この New Element を予測し、供給する活動が研究開発です。現在、セックは「ユビキタス」を研究テーマとして重点的に取り組んでいます。今後もより多くの経営資源を研究開発に振り向けることで、New Element を核とする主体的なビジネスを展開していきます。

〈 共同研究開発事例 〉

- ・ ロボットにも搭載可能な人工知能・機械学習プラットフォーム(早稲田大学)
- ・ 知能処理の回路化とロボットプラットフォームへの適用(九州工業大学)
- ・ 機械学習を用いた運用データの解析による宇宙機の故障解析(JAXA)
- ・ MR技術を用いた次世代可視化の検証(JAXA)
- ・ 空間特性可視化システム(東京大学)
- ・ 量子ソフトウェアの基礎研究(大阪大学)

主要研究開発の変遷



MAJOR DEVELOPMENT RECORDS

主要開発実績

2023

- 03 Webサイト改ざん検知サービス開発

2022

- 10 工事現場遠隔支援ロボット開発
- 10 VR 船体運動シミュレータ開発
- 08 MR 船用鋳造品形状検査システム
- 08 月資源探査シミュレータ開発支援
- 08 自律型ロボット用動作基盤システム
- 07 再生可能エネルギー活用水素エネルギーマネジメントシステム
- 05 温室効果ガス観測技術衛星地上データ解析システム
- 05 小型月着陸実証機 地上システム開発
- 05 7自由度ロボットアーム制御ソフトウェア試作
- 05 MR開発技術者育成支援
- 04 エッジAI向け学習データ収集・適用ツール実証実験
- 04 テレインジスタンスロボット試作開発
- 03 予防接種後副反応報告システム
- 03 深層学習モデル組込用画像診断支援ソフトウェア開発
- 03 スマートコンストラクション アプリ開発
- 02 パーソナルモビリティ運行管理システム
- 01 自律移動ロボットソフトウェア開発 建設現場用追従ロボット
- 01 宇宙探査ローバー制御プラットフォーム開発
- 01 ニューロモルフィックダイナミクス要素技術開発
- 01 宇宙探査ロボットアーム制御プラットフォーム開発

2021

- 12 次世代電動作業機のプロトタイプ開発
- 11 病院向け搬送ロボットシステム実証実験
- 10 航空従事者基盤システム
- 10 スマートグラス実証実験ソフトウェア開発
- 09 自律移動ロボットソフトウェア開発 暗室通信強度測定ロボット
- 08 ドローン飛行計画作成支援サービス
- 08 機械学習による電池故障予兆検出システム試作
- 08 薬物治療相談Web問診システム
- 07 時空間データ可視化ソフトウェア開発
- 07 3Dアバター管理プラットフォーム
- 06 ビニールハウスIoTシステム
- 06 産業用ロボットVRティーチング機能開発
- 06 泥水濁度自動測定ソフトウェア開発
- 05 自律移動ロボットソフトウェア開発 物流倉庫搬送ロボット
- 05 燃料電池向け制御システム
- 05 建設業界向け 墨出し作業効率化ソフトウェア開発
- 02 牛個体識別情報提供システム
- 01 月面着陸制御シミュレータ開発
- 01 内視鏡診断支援システム試作

2020

- 12 地方自治体向け 地産地消エネルギーマネジメントシステム
- 12 デジタルヒューマン動作シナリオ編集システム
- 12 遠隔制御用ハブティクスデバイス開発
- 12 逆走車検知システム
- 11 建設・鉱山機械使用環境 3Dシミュレータ開発
- 10 自動販売機システム 自律移動ロボット技術適用
- 10 次期デブリ除去衛星 ミッション装置基盤ソフトウェア開発
- 09 変形型月面小型ロボットソフトウェア開発
- 09 自律走行ロボット 運行管理システム

- 08 XR 大規模設備表示システム
- 08 バーチャルパワープラント電力制御システム
- 08 農業用ロボット 搭載ソフトウェア開発
- 06 パーソナルモビリティ搭載センサ統合プログラム開発
- 06 温室効果ガスデータ解析地上システム設計支援
- 06 モビリティロボット搭載センサ統合プログラム開発
- 06 ロボットアーム遠隔操作ソフトウェア開発
- 05 XR ジェスチャー機能調査
- 01 新薬電子申請システム
- 01 自律移動ロボットソフトウェア開発 設備監視ロボット
- 01 運動認知機能維持アプリ開発
- 01 自律移動ロボットソフトウェア開発 巡回監視ロボット

2019

- 12 ロボット農機搭載障害物検知システム
- 12 自律移動ロボットソフトウェア開発 検査ロボット
- 11 関節可動域計測システム
- 11 駐車場混雑判断AIシステム
- 10 製造業検査工程支援 MRアプリ開発
- 10 画像認識処理FPGA化試作・評価
- 09 自律移動ロボットソフトウェア開発 大型搬送ロボット
- 09 センシングプラットフォーム開発
- 08 産業用ロボット 次世代ミドルウェア開発
- 08 SoC FPGA向け画像処理デバイスドライバ開発
- 08 自律移動ロボットソフトウェア開発 清掃ロボット
- 07 MRシミュレーション可視化システム
- 07 地形形状測定ソフトウェア試作
- 06 自律移動ロボットソフトウェア開発 小型ブルドーザー
- 06 次世代決済端末 ファームウェア更新機能開発
- 06 自律移動ロボットソフトウェア開発 自動運搬カート
- 06 自動航行・自動着陸システム開発支援
- 06 国際宇宙ステーション宇宙ロボットプログラミングプラットフォーム開発
- 06 四足歩行ロボット搭載システム
- 05 次世代宇宙設備向けソフトウェア基盤設計
- 04 音響機器設計支援 MRアプリ開発
- 04 気象情報基幹システム
- 04 強化学習ロボットアームソフトウェア開発
- 03 国際宇宙ステーション自律移動型船内カメラソフトウェア開発
- 03 車両認識AIシステム
- 02 自動魚数カウントシステム

2018

- 12 建築設計業務支援 MRアプリ開発
- 11 車両衝突防止システム開発
- 08 遠隔協調ロボットシステム
- 07 ロボットSLAM検証
- 06 医療ロボットプラットフォーム連携機能開発
- 05 通信事業者向け 災害時統合アプリ開発
- 05 コンピュータビジョン物体検出ソフトウェア開発
- 05 自律移動ロボットソフトウェア開発 汎用AGV
- 04 ロボット農機環境認識ソフトウェア開発
- 04 物流ロボット向け自律移動機能(SLAM) 開発
- 02 音声対話AI適用 顧客対応アプリ開発
- 02 自律移動ロボットソフトウェア開発 会議室内機能
- 01 宇宙天気予報アプリケーション開発
- 01 宇宙環境衛星リアルタイムデータ処理システム

※近年の開発実績の一部をご紹介します。お客様との取り決めにより、公表できない開発実績は除外しています。

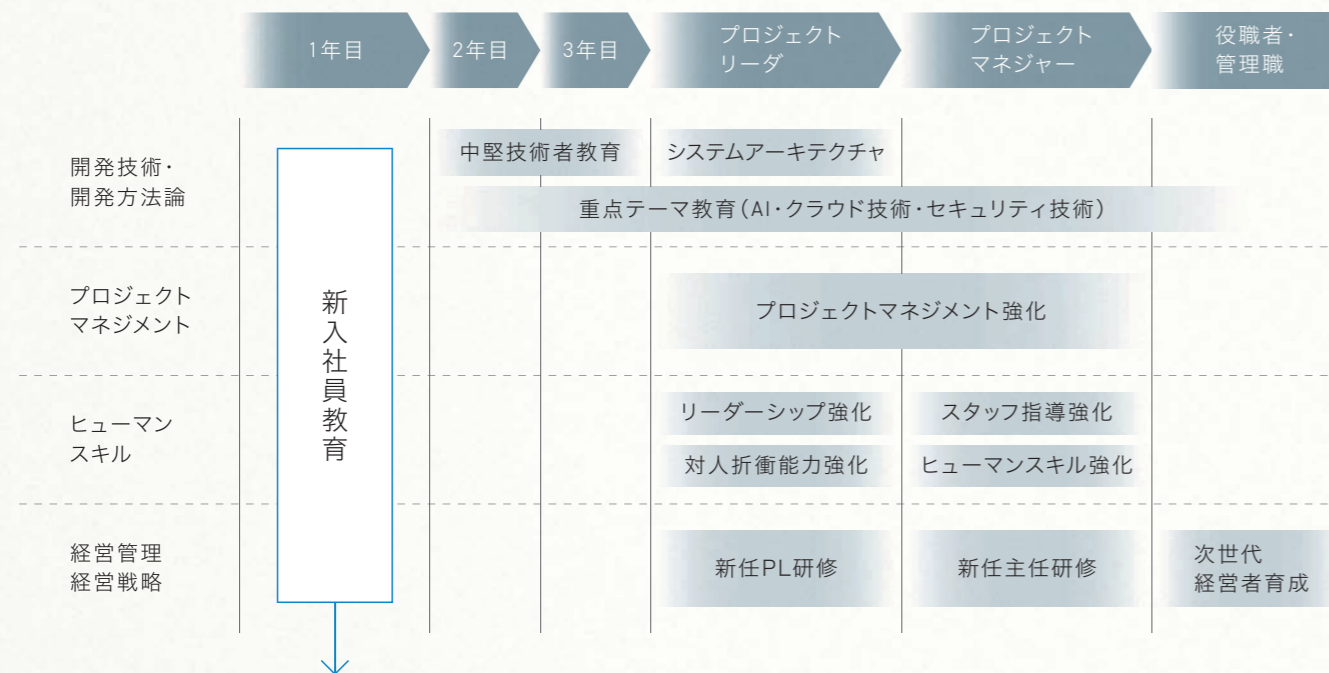
HUMAN RESOURCE CULTIVATION

人材育成

学び続ける組織、セック

セックでは、人材のプロ化を強力に推進しています。プロに「教える」と「育てる」はない、「学ぶ」と「育つ」があるのみ。プロにふさわしい挑戦の機会と、学び成長する機会を社員に提供することが、セックの人材育成の基本方針です。新入社員教育は「基礎なくして、高度な専門性なし」の理念のもと、6ヶ月をかけて実施。その後も、成長フェーズに即して継続的に教育を行う一方、個人の希望や夢を実現するための計画をベースにした自己啓発支援制度や社内公募制度、資格取得支援制度など、社員の市場価値を最大化すべく、人事政策を推進しています。

階層別教育カリキュラム



新入社員教育カリキュラム		4月	5月	6月	7月	8月	9月
実践教育		ソフトウェア基礎 ・ロジック学習 ・UNIX学習		プログラミング演習 ・仮想コンピュータ製作		システム構築演習 ・リアルタイムシステム製作 ・オペレーティングシステムの製作	
技術基礎教育		コンピュータサイエンス講座 ネットワーク・セキュリティデータベース		コンピュータ、ソフトウェア全般について体系的に学習 ネットワーク・セキュリティ技術とデータベース技術の基礎を学習		最新技術 AI(生成AI・深層学習・機械学習)など重要な最新技術を基礎から習得	開発手法 オブジェクト指向などの設計手法、セックの開発方法論などを学習
ビジネス基礎		ドキュメンテーション、ビジネスマナー、問題分析カトレーニング					

CORPORATE OUTLINE

会社概要

社名

株式会社セック(略称:SEC)
Systems Engineering Consultants Co.,LTD.

会社HP

<https://www.sec.co.jp/>

設立

1970年 5月

事業内容

社会公共分野・先端分野の
リアルタイムソフトウェア及びソリューションの提供

事業所

<本社>

〒158-0097 東京都世田谷区用賀4-10-1
世田谷ビジネススクエア
TEL. 03(5491)4770
FAX. 03(5491)4771

<大阪事業所>

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-13-22
WeWork御堂筋フロンティア
TEL. 03(5491)4760 (大阪事業所ダイヤルイン)

上場証券取引所

東京証券取引所 プライム市場 証券コード3741

監査法人

有限責任監査法人トーマツ

取引銀行

三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

資格

ISO 9001 認証登録, ISO 14001 認証登録,
ISO/IEC 27001 認証登録, ISO 22301 認証登録,
JIS Q 15001 認証登録, プライバシーマーク付与認定取得,
くるみん認定取得



HISTORY

沿革

- 1970 05 東京都渋谷区代々木にて株式会社セックを設立
- 1971 03 社会基盤システムBFの最初の案件として「高速道路管制システム」を受注
- 1971 03 宇宙先端システムBFの最初の案件として「ロケットエンジン高空性能試験システム」を受注
- 1979 10 エンベデッドソフトウェアの最初の案件として「水系テレメータシステム」を受注
- 1984 01 モバイルネットワークBFの最初の案件として「電力送電網通信回線監視制御システム」を受注
- 1984 06 一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の会員となる
- 1985 06 大阪市淀川区西中島にて大阪事業所開設
- 1989 05 株式会社セック・インターナショナル設立
- 1992 01 米国カリフォルニア州サニーベールに株式会社セック・インターナショナルの子会社としてAMSEC,Inc.設立
- 1995 05 インターネットBFの最初の案件として「図書館マルチメディアシステム」を受注
- 1997 06 本社を東京都渋谷区桜丘町に移転
- 1998 01 ISO 9001の認証を取得
- 1998 12 株式会社セック・インターナショナルより株式の譲渡を受け、AMSEC,Inc.を子会社とする
- 1999 02 WAP Forum(現、OMA)に入会して、携帯電話関連国際標準技術の調査研究活動を本格化
- 1999 07 ワイヤレスBFの最初の案件として「携帯電話端末エンベデッドソフトウェア」を受注
- 2000 04 株式会社セック・インターナショナルを吸収合併
- 2000 12 ISO 14001の認証を取得
- 2001 11 一般財団法人日本情報経済社会推進協会よりプライバシーマークの使用許諾を取得
- 2003 03 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の認証を取得
- 2004 06 ジャスタック(店頭)上場
- 2007 04 ISO/IEC 27001の認証を取得
- 2010 07 本社を東京都世田谷区用賀に移転
- 2012 07 大阪事業所を大阪市淀川区西中島6丁目に移転
- 2014 03 ISO 22301の認証を取得
- 2015 06 監査等委員会設置会社に移行
- 2016 04 モバイルネットワークBFにワイヤレスBFを統合
- 2017 03 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2017 09 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2022 04 東京証券取引所プライム市場に移行
- 2022.11 JIS Q 15001の認証を取得
- 2023.04 大阪事業所を大阪市北区曽根崎新地に移転